

2020年2月17日

報道関係者各位

中外製薬株式会社
興和株式会社
サノフィ株式会社

SGLT2 阻害剤トホグリフロジン水和物に関する 国内における販売体制変更について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役社長 最高経営責任者：小坂 達朗〕（以下、中外製薬）と興和株式会社〔本社：愛知県名古屋市／代表取締役社長：三輪 芳弘〕（以下、興和）およびサノフィ株式会社〔本社：東京都新宿区／代表取締役社長：岩屋 孝彦〕（以下、サノフィ）は、中外製薬が創製した SGLT2 阻害剤トホグリフロジン水和物（以下、トホグリフロジン）に関し、国内における販売体制を変更することをお知らせいたします。

トホグリフロジンは、2012年に締結したライセンス契約に基づき、興和が「デベルザ[®]錠 20mg」（以下、デベルザ）、サノフィが「アプルウェイ[®]錠 20mg」（以下、アプルウェイ）として2014年に製造販売承認を取得の上販売してきました。

このたび、中外製薬とサノフィとのライセンス契約を終了し、2020年4月1日にサノフィから興和へアプルウェイの販売を移管すること、また同年6月を目途に興和がサノフィからアプルウェイの製造販売承認を承継することに合意しました。本販売体制の変更に伴い、興和はトホグリフロジンを単独で販売することになります。

中外製薬、興和およびサノフィは、トホグリフロジンに関する販売体制の変更により患者さん、医療関係者をはじめ関係各位に支障が生じないよう、製品の安定供給、適切な情報の提供ならびに適正使用の推進に向けた活動を継続するとともに、販売移管および承継に向けて協働して責務を果たしてまいります。

なお、本変更により、中外製薬の2020年12月期の連結業績予想に与える影響はありません。

以上

SGLT2 阻害剤トホグリフロジン水和物について

中外製薬が創製した選択的ナトリウム-グルコース共輸送体 2 (Sodium-glucose cotransporter 2: SGLT2) 阻害剤で、腎尿細管におけるグルコースの再吸収を阻害することにより、血液中の過剰なグルコースを尿へ排出させ、血糖を低下させる薬剤です。

2 型糖尿病を効能・効果として、興和では「デベルザ[®]錠 20mg」、サノフィでは「アプルウェイ[®]錠 20mg」の販売名にて、2014年3月24日付で厚生労働省より製造販売承認を取得しています。海外では、興和が、欧米における「デベルザ[®]」の独占的開発権および販売権、ならびに合剤の独占的研究・開発権および販売権を有しています。

中外製薬について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の東京証券市場一部上場の製薬企業であり、ロシュ・グループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開し、アンメット・メディカルニーズを満たす革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。

中外製薬に関するさらに詳しい情報は <https://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧ください。

興和について

興和は、1894年に綿布問屋として創業した、125年の歴史を持つ企業です。

興和グループの中核企業として、繊維・機械・建材などの輸出入や三国間貿易を行う商社機能と、医薬品・医療用機器・環境・省エネ関連製品などのメーカー機能をあわせ持ち、その事業フィールドは多岐にわたっています。

興和に関するさらに詳しい情報は <https://www.kowa.co.jp/> をご覧ください。

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医科学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「Empowering Life」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。